

# みんなの劇場通信！

Vol. 5



## 市民ワークショップ かわら版

# まちとつながる開かれた劇場

丸亀市では、「（仮称）

みんなの劇場」の整備に向けて、どのような事業を行うのか、どのような機能や規模の施設にするのかを検討しています。そこで、市民の皆様から様々な意見をいただくために、市民ワークショップを開催しています。

11月14日（木）5回目を開催しました。これまで議論してきた内容を踏まえ、劇場にどのような機能が必要かを、施設構成や諸室の配置を中心に、模型を使いながら議論していききました。



### みんながふらっと集まれる場所

どのグループも、様々な世代や国籍、環境に置かれた方々にとって身近で、そこに行けばいつも新しい交流が生まれるような施設像を形にしています。文化芸術の鑑賞・発表にとどまらない場にしたいという思いが伝わってきました。共用空間に誰でも弾けるピアノを設置したり、緑の多い憩いの場や、ジュニア&シニアルーム、中高生の勉強スペースなど、様々な人が立ち寄り、交流できるような機能が多く盛り込まれていました。

### 内と外の一体化！

丸亀城や市民ひろばとの関係性を考えた意見も多く挙げられました。多くの人が、丸亀城と劇場を行きかうような通路を配置したり、開放的な空間や広場に面したロビーを設けて、内と外が一体化した開けた施設を考案していました。また、アーティストが滞在できる施設を設け、地元の人との交流ができるように、といった意見もありました。

スタジオやワークショップルームをガラス張りにし、外を歩いている人にも、「何か楽しそうなことやってる！」と、わくわくする雰囲気が見える工夫を凝らした意見もありました。



アイデアは裏面へ



編集後記 N の視点

今回は、いわゆるモノをテーマに議論しました。モノについて考える中でも、みなさんの頭の中には具体的な「誰か」がイメージされていて、みなさんにとっても有意義な議論になったと思います。さて、今回は大ホールの規模についても考えていきましたが、「誰のために、何のためにその席数になったのか」ということをしっかりと考える必要があります。

今回は、費用面の情報も共有しながら、さらに議論を深めていきたいと思えます。

### 次回予告！

第6回テーマ  
「劇場に関わるお金について  
考えてみよう」

日程：12月17日（火）  
18:30-20:45  
会場：丸亀市役所本館2階  
第3会議室



